

直営健診センター（東京都中央区日本橋堀留町 1-9-6） 胃がん検診の変更について

平成 28 年度より胃がん検診「血液法」（ペプシコース）を廃止することになりました。

直営健診センターの胃がん検診は、35 才以上の方の人間ドックのコースに含まれており、「レントゲン」（胃バリウムコース）、「内視鏡」（胃カメラコース・経鼻コース）、「血液法」（ペプシコース）からの選択となっていたましたが、平成 28 年度からは「レントゲン」と「内視鏡」のどちらかを選択していただくことになりました。

『胃がん検診の血液法についてのご注意』（裏面参照）でこれまでお知らせしてきたとおり、「血液法」では、胃がんのリスクに関する有用な情報が得られますが、現時点で存在する癌や潰瘍等の病変についての情報は得られません。

また血液法は 5 年に 1 回ほどの検査で十分とされており、平成 25 年度より直営健診センターの胃がん検診では「胃がん検診を初めて受ける方」および、「過去 5 年間に血液法」を受けていない方については、「レントゲン」または「内視鏡」を選択した場合でも「血液法」を合わせて検査しております。

上記に鑑み、平成 28 年度からは胃がん検診は「レントゲン」または「内視鏡」から選択していただくようお願い致します。今後も「血液法」については、胃がん検診時に、5 年に 1 回合わせて測定致します。

尚、直営健診センターにて受診される受診者皆様にご周知いただき、申し込みの際のご理解とご協力をお願い致します。また、直営健診センター以外での胃がん検診の変更はございません。

組合健康管理センターで健康診断を受診される方へ

胃がん検診の血液法についてのご注意

血液法を受けられる方は次の点にご留意ください

- ① 血液法によって、胃がんリスクに関する有用な情報が得られます。
- ② しかし、血液法では、上部消化管（食道、胃、十二指腸）に現存するがんなどの病変についての情報は得られません。
- ③ 血液法は5年に1回ほどの検査で十分とされています。

上記に基づき、平成25年度の間人ドックから過去5年間に血液法を受けていない方については、胃がん検診で胃部X線または胃カメラ検査を選択した場合にも、血液法を合わせて検査する事になりました。

上記の事をご留意の上、胃がん検診を選択してください。